

農林水産業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①公設市場	現在の魚市場は、従事する者の高齢化・後継者の不足や、大型スーパーの進出などで厳しい状況にある。安く新鮮なものを提供するため、他市にあるような、公設市場を市で整備してもらえないか。	切実な問題であることは理解できますが、今すぐに回答できる内容ではないことから、持ち帰り検討します。
②有害鳥獣対策	これまで、農道付近等への電気柵の設置など、有害鳥獣対策をしてきているが、電気柵が設置できない道路などからイノシシが侵入してくるので、そういった箇所への対策ができないか。	有害鳥獣対策の1つとして、市で追い払い用の爆音機を用意しており、ご希望があれば貸し出ししています。 また、イノシシが嫌がる形状のグレーチングがあることから、道路からの侵入対策として、既に設置している自治体の事例等を研究したいと思います。
③野菜の冷蔵施設	市内にお米の保冷庫はあるが野菜用のものは無い。必要ときに必要なだけ野菜を出荷できるよう、例えば、滑川蒲鉾の跡地を活用するなどした、野菜を保冷できる施設がほしい。	野菜の保冷施設の設置については、以前から要望をお聞きしており、JAアルプスの組合長と話し合いをしているところで、改めて話をします。
④用水の復旧	7月の大雨により、大崎野地内で斜面の崩落があり、大崎野用水が土砂で埋まってしまった。1日も早い復旧を。	現在、関係機関と連絡を取り合い対策中ですが、崩落現場は山中にあり大型の重機が入れないことから、小型重機が入ることができるルートを探しているところです。2次災害が起こらないよう慎重に、かつ速やかに復旧できるよう努めます。
⑤沖田川	7月の大雨で沖田川が危険水域に達したと聞いたが、今後もこのようなことが起こり得るのか。	沖田川については、あいの風とやま鉄道の線路から下流側は整備されましたが、水位を測っている箇所は河川改修がされていない下島地内で、これまでに数回危険水域に達しています。国や県に対し、線路から上流側の河川の整備を要望します。
⑥孤独死	市内で孤独死が増えているのではないかと。件数は。	孤独死については、昨年度は2件、今年度は2件あり、うち、市外に住民票を置いたまま市内に住まわれている方が1件でした。
⑦商店	市内から小規模な商店が減っており、お年寄りを中心にいわゆる「買い物難民」が増えていると感じる。市にそのような商店はどれだけあるのか。また、商店の減少について市は対策を行っているのか。	市内における小規模商店は、正確な数字は手元にありませんが、各地区にコンビニを除き数軒程度と認識しています。商店減少への対策については、空き家の活用などが考えられますが、難しい問題です。
⑧市場の存続	市では花卉・野菜・魚の物流の把握をしているか。国は市場の統廃合を進めており、滑川市から魚市場が消えることを憂慮している。存続に向け、市も検討いただきたい。	魚市場の存続は、重要な問題と認識しており、検討します。 現在、市産の野菜等の食材については食育の推進により学校給食やひかる市、パノラマレストラン光彩に供給いただいているところですが、生産が追いついていないケースもあるので、市内生産者・生産地の発掘を考える必要があります。

農林水産業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨客土対策	早月加積地区の土が硬いので、野菜の生産量を増やすため、地区全体の客土について対策を検討いただけないか。	早月加積地区の地層については、砂利が多く含まれ土が固いのは承知しており、対策について、何か良い方策がないか検討したいと思います。
⑩カラスの駆除	カラスの被害がひどくなっている。昔と違い殺処分ができず、爆音での対策はカラスが慣れてしまう。何か良い対策はないか。	カラスの駆除については、有害鳥獣捕獲の許可証を持った方については猟銃を使用できますが、現在広く敷設されている光ケーブルを破損されるおそれがあるため苦慮しています。まずは被害がひどい箇所を確認させていただき、対策を検討したいと思います。
⑪チューリップの生産	現在、市内でチューリップ球根を栽培しているのは3名であり、いずれも70代で後継者がいない。営農法人で生産をしていただけないか。	熱意のある営農法人にお声掛けし、チューリップ球根の栽培をしていただけないかお願いしてみます。
⑫農地の保全	米の生産者の高齢化や若者のなり手不足で放棄田が多くなっている。どのように農地を守っていけばよいか、市の考えは。	集落営農や営農法人化を検討いただきたいと思います。市では、農業機械購入への助成や、多面的機能支払制度のほか、市独自の取り組みとして、学校給食用食材の生産者への支援も行っています。農地の保全については県も交えて考える必要があります。
⑬排水問題	大掛地内に企業(工場)が建設されると聞いている。これまで、工場等の建設時には、企業は当該地区の住民には丁寧に説明されるが、その下流に位置する町内への説明が無いので、市から指導してほしい。	大掛地内の工場建設予定地について、市では降雨時にビデオ撮影等を行い、排水等の状況を把握しています。当該企業や、仲介した不動産会社にも必要な対策と、関係者への説明等を行うよう指導します。 また、陸砂利採取後の涵養能力の無い土砂の埋め戻し等による地下水への影響も危惧されるので、下流域の地区への対策についてもできるだけ早く取り組みたいと考えています。
⑭街灯の交換	市では、街灯の交換年数を定めているのか。以前、街灯が切れていない場合は交換しないと市から言われたが、灯りが弱いものがあり、街灯として意味をなさないものがある。	街灯の交換時期は一概に決めておらず、一度現地を確認したうえで、必要に応じ交換しています。 なお、防犯灯として機能している街灯については、市所有のもの町内会所有がありますが、不具合があれば現地を確認し、市のものについては必要な対応を行います。